

あんしんを羽ばたく力に——京急グループ



なぎさ

京急のまちマガジン

TOWN MAGAZINE NAGISA OF KEIKYU

December 2017 No.606

特集 京急蒲田駅
町工場のカケラをあつめて



私という時間

京急川崎から終点の小島新田まで約十分
穏やかで緩やかな時間が過ぎていく

子供の頃 私は大師線が好きだった

窓枠の下 両側にあるつまみを

親指でカチッと押して上げる

そうやって窓を開けると 川崎の匂いがした

川崎の熱気のような 工場の匂い

今はもうその匂いはほしめないけれど

小島新田の向こう側に広がる工場夜景は

メタリックに輝き 名所となっている

子供の頃 私は大師線が好きだった

という過去形ではなく

大人になった今も 私は大師線が好きだ

赤い電車に乗って過ごす約十分

穏やかで緩やかな私という時間

作／ペンネーム・恵子



あなたにとっての京急を詩にしてみませんか？

「忘れられないあの日の車内アナウンス」「お父さん、3年前に見た三浦海岸の夕陽を覚えていますか？ あれから……」

京急沿線の思い出、お気に入りの電車や駅、車窓の風景など、『なぎさ』に掲載する詩を募集しています。

■応募方法／はがきか封書、またはEメールに下記必要事項をご記入の上、ご応募ください。

詩とタイトル(詩は300字程度)、郵便番号、住所、氏名(匿名希望の場合はペンネームも)、年齢、性別、電話番号、(Eメール応募の場合)メールアドレス、本誌のご感想

※掲載された方には京急オリジナルQUOカード(1,000円分)を進呈します。※作品の掲載発表は冊子の発行をもって代えさせていただきます。応募作品は返却いたしません。誤字など応募作品に一部加筆・修正させていただく場合があります。※応募作品の使用権は京浜急行電鉄(株)に帰属します。発表の作品に著作権侵害等が発生した場合、一切の責任は負いかねます。

■締め切り／12月18日(月)消印有効

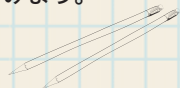
■応募先／〒108-0074 港区高輪 3-25-23 京急第2ビル 3F(株)京急アドエンタープライズ『なぎさ』606号 詩募集係

E-mail : nagisa.hiroba@keikyuu-ad.co.jp

特集 京急蒲田駅

町工場のカケラをあつめて

町工場の扉を色鉛筆で記録する、「オオタノカケラ」の運営者・さかお こういち酒百宏一さん。
今号では酒百さんと一緒に、日常のありふれた風景を、視点を変えて見てみよう。
日本のノスタルジーを辿るまち歩き、機械職人が育てた蒲田へ。



ひとの営みを記憶する。

「ずっとそこにあり続けることで存在するものに目を向けること、それがきっかけでした」



職人さんたちが長年使い込んだ道具たち。
ただのスケッチでは正確に写せない風合いを感じる。

Ⓐ が働いていたこの工場を使って、何かできないかと。空間をそのまま残して、自由にアートが集まり、文化を発信する場になれば、とギヤラリーにしました」

そう話すのは、水口恵子さん。4年前に父親を亡くし、ギヤラリーをオープンして2年半になる。この場所では、現在、酒百宏一さんが運営する「オオタノカケラ」のワークショップが不定期に開催されている。

丸、キューブ、長方形、曲線……、「ギヤラリー南製作所」の扉を開けると、見たことのない道具がずらり。どれも一点モノ。これは、酒百さんが、大田区にある町工場の道具や部品を集めたもの。職人たちが、作業効率を第一に、手の大きさ、握り加減を考えて開発した、道具をつくるためのオリジナルの道具だ。

オオタノカケラのワークショップでは、色鉛筆を使って「フロッタージュ」という作業を行う。フロッタージュとは、フランス語で「こする」という意味。鉄や木などの凹凸面に紙を置いて、上から色鉛筆などでこすり、図柄を紙面に写し取



トタン屋根の家の外には、アルミ缶や鉄の棒。災害が来ても大丈夫なように、出入り口は高くするなど、絶妙な職人の知恵が光る。



Meow

まち歩きで感じる時代の流れ

路地を歩くと、「△△製作所」の看板がそこかしこに。「部品の製造が、安価で発注できる海外工場へシフトするようになると、大通りではマンションや駐車場を見かけるようになりました」と、酒百さん。



る描画技法だ。

「「こする」という感覚は、「見る」よりもモノに寄り添うことができる。見るだけではわからなかった、凹みや歪みが紙の上に浮かび上がると、当時、その道具を使っていた職人さんのちよつとした癖や、使っているうちに形が変わっていった道具の歴史を感じることができません」

と、酒百さん。この活動をはじめたの

は、ひとりの男性との出会いがきっかけだったという。

「蒲田で、89歳になるまで、切削加工をする工作機械の旋盤を扱っていた職人さんがいました。彼が亡くなったときに、息子さんが「親父がずっとやってきたことを何かに活かして欲しい」と、大田区役所を訪ねてきたのです」。役所の担当者から相談を持ちかけられた酒百さん

は、2013年、その職人さんの工場を、オオタノカケラの拠点とした。

「日本の近代工業を支えてきた大田区の町工場ですが、いまでは半数以下に減少。フロッタージュは、町工場の活躍を、形（作品）として記憶に残します。失いかけていたまちの歴史やひとびとの交流を、新しいモノづくりで再生できれば」。こうして活動がスタートした。

色鉛筆で甦る、蒲田の音。

「語りかけるアートで、
まちの記憶と未来をつないでいきたい」



Drawing
memories of Kamata

昭 和の後半、日本の中小企業の数はピークを迎えていた。当時、町工場のひとたちは、大手企業にとって「がゆいところに手が届く」部品をつくるスーパー職人。マンモス企業を相手に、食住一体型の家内工業で、新幹線や瀬戸大橋など、日本の進化の証ともいえる大きな構造物の要となる部品をつくり続けてきたという。

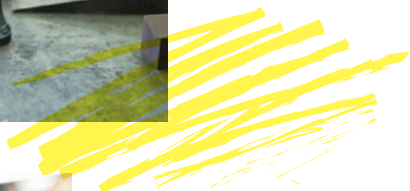
とくに、京急蒲田駅から東京湾へと続く呑川一帯エリアの住人たちは、江戸時代の海苔の養殖からはじまり、農業、工業へと、時代が求める産業に合わせて、次々と変遷を遂げてきた。今でも平日にこの周辺を歩くと、ガシャン、ガシャンと、機械を動かす音が聞こえてくる。

「住宅の中に工場が溶け込んでいる風景には、都会にいながらひとの営みを感じます。とくに変遷が激しい蒲田に住むひとたちは「生きる」ことにたくましくいから、まち全体に活気もありますよね」と、酒百さん。

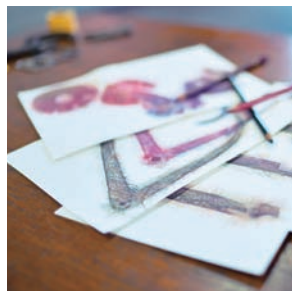
現在、オオタノカケラのまち歩き&ワークショップには、「自分たちが住むま



15の時からエンジンベルトを
つくり続けて、今年で57年目。



ミミズのきうなネジ、
こしが日本を
まわっているのだよ。



ちのことをもっと知りたい」という、引越して来たばかりの女性など毎回15人程度、参加しているという。

「まち中にある欄干らんかんは、「欄干」として見るとサビや汚れが気になるけれど、固有名詞を外すと、色合いに味があったり、形が面白かったりするアート作品。過去を記憶するだけではなく、その場所にずっとあるものに気づき、あたらしい価値を見つける。これが、アートのまちを見直す試みの醍醐味です」

色鉛筆という柔らかなタッチで、ノスタルジーを形に残していくオオタノカケラの取り組み。その作品たちは、蒲田のひとびとが色付けてきた「生きるための営み」に目を向けてみよう、語りかける。

2 旧呑川緑地

1980年に、旧呑川を埋め立てられてきた緑地公園。散歩しながら川の名残を感じることができる。

個性溢れる看板も
要チェック!



見どころをチェックしてお出かけ!
**おさらい
INFO**

LET'S CHECK OUT
THE SIGHTS

1 不帰橋(ぎらすばし)跡

由来は定かではないが、昔はこの橋を渡って東京へ出ると帰って来なかったとか?!

まち歩きで聞こえてくる、
町工場の営み。

2

旧呑川緑地

1



3



ギャラリー
南製作所



4 ギャラリー南製作所

100㎡ある工場跡地のギャラリー。ライブや展示、ワークショップなど、ジャンル不問のイベントを開催中。

☎03-3742-0519 ㊦大田区西糀谷2-22-2 ㊧http://2222gmf.blogspot.jp/

糀谷駅から続く商店街。古くからあるうなぎ屋や町中華などで賑わう。

おいで通り

5



3 火の見庵

80年近く続く老舗の蕎麦屋。某テレビ番組も注目した、昭和にタイムスリップしたような店内は一見!

☎03-3742-8240 ㊦大田区西糀谷2-1-8 ㊧11:00~L019:00(売り切れ次第終了) 休日曜日



4

GOAL
ワークショップ会場

オオタノカケラ /

WORKSHOPに参加しよう!

ピンときた道具を選んでフロッタージュ。色鉛筆で写し取るだけの作業でも、色の付け方や力の入れ加減で個性が出ます。完成した作品は、つなぎ合わせて、大きな作品として展示します。

【お問い合わせ・応募先/オオタノカケラ事務局】

■東京工科大学デザイン学部 酒百宏一 ■mail / otanokakera@gmail.com ■Facebook / https://www.facebook.com/otanokakera



-PROFILE-

酒百 宏一 (さかお・こういち)

1968年石川県金沢市生まれ。東京工科大学教授。フロッタージュという美術の描画技法を駆使したオリジナルの方法で作品づくりを続ける。2006~15年、越後妻有アートトリエンナーレ、09~15年、水と土の芸術祭など、地域プロジェクトによるアートイベントに作品を出展。13年、プロジェクトとして「オオタノカケラ」の活動を開始。



9 呑川一帯

古くから続く町工場が点在するエリア（オレンジ点線の内側）。まち歩きで見かける駐車場や福祉施設、新しい建売住宅のほとんどが、町工場の跡地に建っている。

8 弾正橋(だんじょうばし)

面影はないが、蒲田梅園と鎌倉時代に六郷一帯を治めていた領主の館跡。

7 夫婦橋親水公園

蒲田は、古いものとあたらしいものが混在していて、発見がいっぱい！

海苔採取業者の運搬、物資の荷揚げ場だった場所。まち歩きスタート地点！

10 キネマ通り商店街

商店街名は、かつて「蒲田キネマ」という映画館があったことに由来。昭和全盛期、町工場の職人たちが通い、賑わっていた。



6 松葉用水跡

5 うなぎ どじょう 川松

江戸の安政年間以前より居を構える、老舗の川魚料理専門店。店主が買い付ける良質なうなぎ、どじょうは絶品。こだわりのどじょうは、丸ごと煮て食べる昔スタイル。

☎03-3742-2958 住 大田区西糀谷1-19-20
🕒11:30~13:30、16:30~22:00 休 月曜日



京急電鉄の謎 12

駅名シリーズ其の二・花月園前駅

東洋一の遊園地があつた駅



花月園古地図

2

010年3月、60年の歴史に幕を下ろした「花月園競輪場」。最寄駅だった「花月園前駅」は、競輪開催日に急行を臨時停車させたり、きつぷの特別発売所を設置するなどして、その運営に寄り添ってきた

が、実は、駅の由来は競輪場ではなく、かつてこの地にあつた遊園地にある。

1914年5月、パリの遊園地に感銘を受けた、新橋の料亭花月楼の主人・平岡廣高が、東福寺境内跡地に「鶴見花月園」という遊園地を開園した。平岡がこの地を選んだ理由

には、鶴見が風光明媚な土地であることに加え、東福寺が子育て祈願の寺だったことが挙げられているが、その背景には、子育てに恵まれない環境で、家業の料亭を支えてくれた芸者たちへの償いの気持ちが進められていたのではないかと言われている。この「鶴見花月園」へのアクセスとして誕生したのが、「花月園前駅」である。

新しいもの好きで、好奇心旺盛だった平岡は、園内に長さ50mの大山すべり(すべり台)や電気車、観覧車、アイススケート場などを次々に設置し、子ども達を熱狂させた。1922年には花月園少女歌劇が開場し、「西の宝塚、東の花月園」と言われるほど話題に。デビュー前の美空ひばりもここで稽古を積んだという。この大正末期から昭和初期が「鶴見花月園」の黄金期。広さ7万坪までになった園は、東洋一大遊園地と称され、栄華を誇った。

ところが、近隣に登場した遊園地「多摩川園」などとの競争や世界恐慌のあおりを受けて、「鶴見花月園」は平岡個人の経営では立ち行かなくなり、1933年、京浜電鉄(現・京急電鉄)と大日本麦酒を大株主とする株式会社花月園となった。その後は太平洋戦争に翻弄され、1946年11月に閉鎖。1934年に生涯を閉じた平岡は、その最後を彼岸でどう見ただろうか。「花月園競輪場」を経たこの地では、現在、2020年の完成を目指し、公園と宅地の一体的な整備が進んでいる。鶴見花月園公園(仮称)には大すべり台を設置する予定もあるという。「花月園前」の名であり続けた駅は、70年あまりの間、このときを待っていたのかもしれない。

History of KAGETSUEN-MAE Sta.
花月園前駅の歩み

- ・1914(大正3)年
4月に「花月園前駅」開業
- ・1914(大正3)年
5月に「鶴見花月園」開園
- ・1950(昭和25)年
「花月園競輪場」開業
- ・1971(昭和46)年
橋上駅となる

—いま、見えてくる京急沿線の未来 File.12—

“ものづくり”で世界に挑む

下町ボブスレーネットワークプロジェクト



スカイマークのジェット機を丸ごと1機ラッピングし、華やかにPR。“下町ボブスレー飛行機”が空を飛んだ。

「氷上のF1」とも言われる競技、ボブスレー。ソリは時速130km以上で滑走する。

「**下**町ボブスレー」
をご存知だろうか。大田区の町工場

場100社以上が力を結集してボブスレーのソリを作り、ジャマイカ代表チームに無償提供しているのだ。

ソリには技術力が必要とされ、欧州ではBMW、フェラーリなど、錚々たる自動車メーカーが開発に携わる。そんな中、なぜ町工場が取り組むことになったのか？「下町ボブスレーネットワークプロジェクト」の発起人で、現在はセネラルマネージャーを務める細貝淳一さんはこう語る。

「きっかけは危機感です。大田区はものづくりの町として知られていますが、ここ30年で工場数は3分の1になり、減少の一途をたどっています。でも、航空機やiPhoneなどのパーツは大田区で製造しているものが多く、技術力は世界有数。そこで、全員が経営者というアイデアアカ、ひとつの製品を“仲間回し”でスピーディーに作り上げる連

携力など、町工場の強みを活かし、国際的なPRをしたいと考えました」

細貝さん自身、大田区でアルミ材料を加工・販売する会社「マテリアル」を経営する。部品ごとの技術が優れていても、単体では宣伝が難しいと感じていたのだ。

町工場に足りない検証作業などの工程は、細貝さんらの要請により、大手企業が協力。晴れて、企業スケールの垣根を超えた、日本が世界と戦うプロダクトづくりの仕組みが完成した。

ソチ五輪では、日本代表チームは採用を見送った。しかし以降も改良を重ねた結果、ジャマイカ代表チームに選ばれ、現在は彼らとともに平昌五輪を目指す。挑戦は道半ば。大田区の技術力は進歩し続けている。



ジャマイカチームは、1988年にオリンピックに初出場。その模様を映画化した『クール・ランニング』は大ヒットした。「下町ボブスレー」を2016年から採用している。



B. 海辺つり公園

海釣りの他に散歩や遊具遊びができる人気スポット。猿島や房総半島を眺めながら海に面したボードウォークを歩けば、気分は大型客船の上。

☎ 046-822-4022 (8:30~17:30) 住 横須賀市平成町3-1 開 5:00~22:00 休 無休 ※天候などにより休園する場合があります。🎫 入園無料



C. 創作中華 天空

ご主人の十八番は、海鮮と野菜をふんだんに使った海鮮麺。絶妙な塩加減と旨味が詰まったスープが、体を隅々まであたためてくれる。

☎ 046-821-5323 住 横須賀市三春町 3-35 営 11:30~15:00、17:00~21:00
休 水曜日(祝日の場合は翌日)
🍜 海鮮麺〜海の幸の汁そば (塩味) 1,000円他



新大津駅から
国道134号線に向かう
道沿いにはいるよ



D. 大津諏訪神社

諸行開発、守護、武勇の神様として広く崇敬される地元を守り神。2024年に御鎮座1200年を迎える。

☎ 046-836-3570 (9:00~16:00)
住 横須賀市大津町 4-22-22

ひと駅ごとに行きたいまち

京急線 普通電車の旅

vol.56

ほりのうち しんおおつ
堀ノ内 & 新大津 駅編


カメラ必須の京急線分岐エリア

1942年にそれぞれ現在の地に開業した堀ノ内駅、新大津駅。駅とともに発展してきた街は、閑静でありながら、海沿いを走る京急の電車が見える高台や、緑豊かな公園など撮影スポットがいっぱい。冬のやわらかな光を感じながらのんびり歩けば、地図にはない隠れ名所も見つかるかも。

この街のおもしろルール 5



- 1 海を撮るなら堀ノ内駅、緑を撮るなら新大津駅
- 2 「いいね!」が集まるインスタ映えグルメもたくさん
- 3 消火栓蓋や歩道橋の手すりにも注目
- 4 堀ノ内駅では“隠れけいきゅん”を探そう
- 5 新大津駅付近には風邪を治すお地藏さんがいる!?


ファスナーのような京急本線と京急久里浜線。快特は走らないけれど、実は浦賀行き線路が“本線”。

PhotoSpot 02



京急 大人の讃歌

「KEIKYU OPEN TOP BUS」乗車と 夕暮れマジックアワークルージングで 三浦半島周遊

※写真はイメージです。



開放感のあるバス「KEIKYU OPEN TOP BUS」で雄大な田園風景を巡った後は、「ペイクルーズ葉山II」で三崎から葉山の夕暮れどきをクルージング。夕食は、地元の新鮮な食材を堪能できるレストラン「ラ・マール」で。三浦半島の魅力が詰まった贅沢ツアーです。

■開催日/2018年2月1日(木) ※荒天中止 ■集場所と時間/「三崎口」駅改札の外に13:00 ■コース/「KEIKYU OPEN TOP BUS」で三崎口～城ヶ島(約45分)～うらり(お買いもの周辺散策 約60分)～「ペイクルーズ葉山II」乗船・三崎～葉山クルージング(約60分)～葉山「レストラン ラ・マール」にて夕食(約90分)～現地解散。解散後は、各自京急バス等をご利用の上お帰りください。 ■募集人数/40名さま(最少催行人員30名) ■料金/9,000円(お一人さま) ■お問い合わせ/03-5767-9717(平日9:30～18:00/京急観光) ※詳しい旅行条件を説明した書面をお渡しいたします。ご確認の上、お申し込みください。

■ 京急ストア 京急ストア 靴谷店 12月1日(金) オープン



羽田空港や品川、横浜方面へのアクセスが良好な京急空港線エリア。この冬、「京急ストア」が、ベーカリーカフェ「パン工房 ベルベ」とコーヒー豆・輸入食品「カルディコーヒーファーム」の2店舗とともに、空港線靴谷駅の高架下に誕生しました。青果や総菜などが揃う、小型店ながら必要なものが短時間で手に入る店舗を目指し、単身者や共働き世帯など、様々なライフスタイルをサポートします。

■営業時間/京急ストア 10:00～22:00(土・日・祝日は21:00まで) パン工房ベルベ 9:00～21:00 カルディコーヒーファーム 10:00～20:00 ■アクセス/「靴谷」駅改札正面 ■お問い合わせ/0120-34-0453(10:00～18:00/土・日・祝日を除く)

🎁 PRESENT

なごさ 京急創立120周年記念 特別号 20名さま

はがきに ①郵便番号・住所・電話番号、②氏名・年齢、③本誌の入手場所、④今号で面白かった記事、⑤本誌デザイン・内容についてのご感想、をご記入のうえ、ご応募ください。 ※ご応募いただいたお客さまの個人情報は、アンケートの集計および賞品の発送以外の目的で使用することはございません。

締め切り **12月18日(月)必着**

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

宛先/〒108-0074 港区高輪 3-25-23 京急第2ビル 3F (株)京急アドエンタープライズ 「なごさ」606号プレゼント係


次号は2018年2月1日(木)発行予定です



のりかえなしで
都心へGO!
都営浅草線

東京タワー
ウィンターファンタジー
大門駅

2018年に60周年を迎える東京タワーと、樹齢60年、都内最大級のモミの生木が、オレンジ色に輝く空間をつくります。
 ☎03-3433-5111 場東京タワー正面玄関前広場 🕒16:00～23:00/2018年2月28日(水)まで



この生き方のそばに、京急
LIVE THE LIFE YOU LOVE.

おかげさまで120周年
歴史と共に創られる、京急沿線の日常。
Life along Keikyu vol.0

京急創立120周年

その1日が、歴史をつくってきた。これからの1日は、未来をつくっていく。
笑顔も、喜びも、何気ない日常の風景も、
賑わいある暮らしの中に続いてきた京急のレール。
それは街と海と空をつなぎ、そしていつも、たくさんの生き方のそばにある。
沿線の多様で魅力的なライフスタイルに寄り添い、
かけがえのない1日を重ねて、京急は創立120周年、そして未来へ。

1898-2018



これからもたくさんの笑顔に乗せて。



京急線の時刻や運賃など京急に関するお問い合わせは
京急ご案内センター (平日9:00~19:00 土日祝日9:00~17:00)
※営業時間は変更になる場合がございます。
03-5789-8686 / 045-441-0999
京急ホームページ www.keikyu.co.jp

KEIKYU
京急電鉄